

## 令和7年度 第4回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和8年2月15日(日)

13時～16時

開催場所：教育文化会館 第1学習室

出席者：〈委員〉山澤委員（部会長）、安田委員、青木委員、野口委員、竹内委員、星委員

出席者：〈事務局〉小島館長、北村分館長、平井分館長、石渡担当係長、大久保係長、高橋主任（記録）

欠席者：〈委員〉村社委員（副部会長）、新山委員

傍聴者：0名

### 1 開会

### 2 事務連絡

傍聴0名。欠席の委員2名。8名中6名の出席で過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。配布資料の確認

### 3 館長あいさつ

### 4 部会長あいさつ

### 5 議事

(1) 教育文化会館・大師分館・田島分館の社会教育振興事業について  
資料配布のみ。

(2) 協議テーマについて

小島館長より来年度の協議テーマの意見交換について説明。

**山澤部会長**）教育文化会館で実施する協議テーマについて意見ををお願いしたい。

**竹内委員**）自分たちの住む街を知るために地名資料室を活用して地域を分けて地名の由来を学ぶ講座はどうか。外国につながる子どもたちの中には学習言語に悩んでいる小学生も少なくないと聞いているので学習言語の学習支援を行ってはどうか。

**安田委員**）筋力アップ講座に参加したがとても有意義であったので身体を動かす講座の拡充も良いと考える。またシニア世代向けに AI など世の中の動きについていくた

めの講座や戦後を考える意味で川崎市内の戦跡等を訪れるのはどうか。

**山澤部会長)** 社交ダンスの講座に参加したが頭と身体を使うので難しさと楽しさを感じた。シニア世代には少し難しい方が刺激になってとても良いと感じた。歴史探索をする中でチャット GTP を組み合わせる等、頭を使い身体も動かせるような講座はどうか。

**青木委員)** 多文化共生の観点から地域で受け入れるためのノウハウの学習やサポートをするためのボランティア講座はどうか。

**星委員)** 高齢者福祉等について事前に学習していればいざという時に慌てずに済むので親子でエンディングノートを作成する等の講座はどうか。また教えたい人と学びたい人を登録して講師に市民の力を活用して学習の場を作るような事ができればお互いに有益ではないか。

**小島館長)** 来年度の第 1 回教育文化会館専門部会でテーマを協議する中で参考としたい。

## 6 その他

2 月中に次期専門部会の委員推薦を各団体代表宛に送付する。

## 7 閉会